

# これからの時代に必要なのは人間力。 どんどん学校の外に出ましょう

81歳でスマホゲームアプリを開発／若宮正子



Masako Wakamiya  
わかみや・まさこ

1935年東京都生まれ。東京教育大学(現在の筑波大学)附属高校卒業後、大手都市銀行に就職。60歳からパソコンを使い始め、インターネットやエクセルの使い方、ホームページ制作、プログラミングと次々に知識と技術を習得。2016年秋からiPhoneアプリの開発を始め、2017年6月にはアップルによる世界開発者会議「WWDC 2017」に特別招待される。首相官邸主導の「人生100年時代構想会議」の最年長有識者のメンバーにも選ばれた。2018年2月には国連の会議で英語による演説も行う。現在はシニア世代のサイト「メロウ倶楽部」の副会長を務め、NPO法人ブロードバンドスクール協会の理事として、シニア世代へのデジタル機器普及活動に尽力している。著書に「60歳を過ぎると、人生はどんどんおもしろくなります。」(新潮社)などがある。

●ブロードバンドスクール協会<https://broadbandschool.jp/>

私のこれまでの83年間の人生が一変したのは1年前のことでした。iPhoneやMacのメーカーとして有名なアップルのCEOから、世界中から5000人ものIT技術者が集まる「WWDC 2017」というイベントに特別招待されたことを皮切りに、本を書いたり、国連で英語でスピーチしたり、内閣府の「人生100年時代構想会議」の最年長有識者のメンバーにも選ばれました。国内外の新聞やテレビなどたくさんのメディアにも大きく取り上げられ、今でも1日に複数件の取材を受けることもざらにあります。また、いろいろな企業や自治体、学校からの講演依頼も殺到していて、全国を飛び回る日々を送っています。

なぜ、ついこの間まで普通のおばあちゃんだった私の人生が想像すらできないほどに激変したのか。その大きなきっかけとなったのが、2017年に開発したスマホゲームアプリ「hinadan」。ひな祭りのひな壇に、男雛や女雛を正しく配置するゲームです。それまでゲームなんて作ったことがなかったのですが、知人の先生に背中を押され、プログラミングを学び、なんとか無事公開することができました。それがアップルのCEOの目に留まり、「WWDC 2017」に特別招待されたというわけです。

いろんな人から「よく80歳を超えてプログラミングに挑戦できましたね」と言われるのですが、私にとっては挑戦でも何でもありません。単にスマホゲームを作るためにはプログラミングを学ばなければならなかったから学んだということなのです。だから、確かに60歳でパソコンを使い始めて以来、さまざまな知識や技術を習得してきましたが、勉強しているという意識がないんです。目的がなく、ただ知識を詰め込むための勉強には意味がないと思っています。

今のような技術革新のスピードがものすごく速い時代には、昔のように長期計画を立てて、どこかに入門して一から学ぶというのはそぐわないのではないのでしょうか。長い年月をかけてそれを身に付けたころには、その知識や技術は不要となっている可能性が高いからです。だからこれまでの常識の延長線上で将来の進路を決めない方がいいと思いますよ。

中高校生の皆さんには「あなたたちはこれから、お父さんやお母さんが生きた時代とはまったく違う、人工知能と一緒に生きる時代を生きていかなければなりません。そのためには人間力が必要です」と伝えたいですね。コンピュータでできることはほとんど人工知能さんがやってくれるので、後は人間にしかできないことをいかにやるかが重要。そのために必要なのが、社会の中で他者のために行動できるという人間力だと思うのです。

その人間力はどうやって養えばいいのか。今後はますますあらゆる局面で国際化が進むでしょう。隣近所の小さなコミュニティも含めて、さまざまな国籍、人種、考え方の人と付き合っていかなければなりません。だから高校生のうちからどんどん海外へ出て、放浪したり学んだり生活してみるのがいいと思います。進学先も日本の大学にこだわらなくてもいいと思うんですよ。海外にも優れた大学がたくさんあるから。海外とまではいなくても、とにかく学校の外にどんどん出て行って、いろんな人たちと交流することがものすごく大事。

やりたいことがわからないという人には、ボランティアをお勧めします。志の高いさまざまな人に出会えて、そういう人たちと付き合うことでやりたいことや今後自分が進むべき先が見えてくると思いますよ。